

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 平成23年8月10日

【四半期会計期間】 第52期第1四半期  
(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

【会社名】 ダイハツディーゼル株式会社

【英訳名】 DAIHATSU DIESEL MFG.CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 取締役社長 原田 猛

【本店の所在の場所】 大阪府大阪市北区大淀中一丁目1番30号

【電話番号】 06-6454-2332

【事務連絡者氏名】 常務取締役 中村 健

【最寄りの連絡場所】 大阪府大阪市北区大淀中一丁目1番30号

【電話番号】 06-6454-2331

【事務連絡者氏名】 総務部長 水科 隆志

【縦覧に供する場所】 株式会社大阪証券取引所  
(大阪府中央区北浜一丁目8番16号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

##### 連結経営指標等

回次		第51期 第1四半期連結 累計期間	第52期 第1四半期連結 累計期間	第51期
会計期間		自 平成22年 4月 1日 至 平成22年 6月30日	自 平成23年 4月 1日 至 平成23年 6月30日	自 平成22年 4月 1日 至 平成23年 3月31日
売上高	(千円)	14,452,198	13,007,816	58,108,323
経常利益	(千円)	1,211,802	1,480,179	6,160,544
四半期(当期)純利益	(千円)	532,668	778,729	3,528,637
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	484,019	798,606	3,400,884
純資産額	(千円)	19,354,277	22,814,954	22,271,045
総資産額	(千円)	64,275,693	65,818,422	66,557,009
1株当たり四半期(当期)純利益金額	(円)	16.73	24.45	110.83
自己資本比率	(%)	30.1	34.6	33.4

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4 第51期第1四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

#### 2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社及び当社の関係会社において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 経営成績の分析

当第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年6月30日）における我が国経済は、3月11日に発生した東日本大震災の影響により経済活動が停滞し、円高、資源高が継続する中で夏場の電力不足問題が懸念される状況となるなど、一段と先行き不透明な経済環境となりました。

このような企業環境下、積極的な事業展開を進めました結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は13,007百万円（前年同四半期比10.0%減）となりました。利益面におきましては、営業利益は1,424百万円（前年同四半期比12.9%増）、経常利益は1,480百万円（前年同四半期比22.1%増）、当第1四半期純利益は778百万円（前年同四半期比46.2%増）となりました。

当社および連結グループのセグメント別の業績は次のとおりであります。

#### < 内燃機関部門 >

##### イ) 船用機関関連

主力の新造船向けディーゼルエンジンの販売台数は前年同四半期比で横ばいとなったものの、円高や販売価格下落等の影響により、売上高は11,392百万円（前年同四半期比11.0%減）、セグメント利益は1,872百万円（前年同四半期比1.8%減）となりました。

##### ロ) 陸用機関関連

東日本大震災後に発生した電力不足懸念の影響により、当社陸用機関に対する問い合わせが増加したものの、当第1四半期連結累計期間での関連の売上計上には至りませんでした。その一方で、海外向けの機関販売が増加したことから、売上高は1,202百万円（前年同四半期比18.7%増）、セグメント利益は99百万円（前年同四半期は35百万円のセグメント損失）となりました。

従いまして、当部門の売上高は12,594百万円（前年同四半期比8.9%減）、セグメント利益は1,971百万円（前年同四半期比5.4%増）となりました。

#### < その他の部門 >

##### イ) 産業機器関連

主力のアルミホイール部門におきまして、自動車業界が低迷したことにより、売上高、セグメント利益とも大幅な減少となりました。

##### ロ) 不動産賃貸関連

不動産賃貸関連に関しましては、売上高、セグメント利益とも減少となりました。

従いまして、当部門の売上高は413百万円（前年同四半期比34.7%減）、セグメント利益は120百万円（前年同四半期比31.2%減）となりました。

## (2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末における資産の部では、前連結会計年度末の売上債権の回収が進み、受取手形及び売掛金が、前連結会計年度末に比べ、1,657百万円減少となりました。たな卸資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、762百万円増加となりました。有形固定資産は前連結会計年度末に比べ、349百万円減少し、20,127百万円となりました。資産の部合計については、前連結会計年度末に比べ、738百万円減少し、65,818百万円となりました。

一方、負債の部では、支払手形及び買掛金が前連結会計年度末に比べ、221百万円増加となりました。また、短期借入金の残高は、前連結会計年度末に比べ、126百万円減少し、10,244百万円となり、長期借入金の残高は、224百万円減少し、3,760百万円となりました。負債の部合計では、前連結会計年度末に比べ、1,282百万円減少し、43,003百万円となりました。

純資産の部では、利益剰余金524百万円増加などにより、前連結会計年度末に比べ、543百万円増加し、22,814百万円となりました。

## (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

## (4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は、367百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、環境にやさしい新型ディーゼル機関の開発を進めるとともに、ガスエンジンやガスタービンの開発も継続的に進めています。その他の当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	80,000,000
計	80,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成23年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成23年8月10日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	31,850,000	31,850,000	大阪証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は 1,000株で あります。
計	31,850,000	31,850,000		

(注) 昭和41年5月2日会社設立資本金10億円のうち現物出資額548,900千円があります。

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成23年6月30日		31,850,000		2,434,300		2,150,863

##### (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成23年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成23年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 12,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 31,793,000	31,793	
単元未満株式	普通株式 45,000		
発行済株式総数	31,850,000		
総株主の議決権		31,793	

(注)「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が2,000株(議決権2個)含まれております。

【自己株式等】

平成23年3月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) ダイハツディーゼル株式会社	大阪市北区大淀中一丁目 1番30号	12,000		12,000	0.04
計		12,000		12,000	0.04

2 【役員の様況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成23年4月1日から平成23年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人により四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,794,602	13,473,039
受取手形及び売掛金	16,542,531	14,885,212
たな卸資産	9,268,860	10,031,634
繰延税金資産	2,311,829	2,296,322
その他	591,863	533,895
貸倒引当金	83,413	47,059
流動資産合計	41,426,274	41,173,044
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,786,294	7,657,890
機械装置及び運搬具(純額)	6,327,054	6,430,612
土地	5,029,204	5,022,564
建設仮勘定	307,841	88,225
その他(純額)	1,025,796	927,766
有形固定資産合計	20,476,193	20,127,059
無形固定資産	1,140,537	1,059,349
投資その他の資産		
投資有価証券	785,113	765,461
長期貸付金	15,456	14,624
繰延税金資産	1,811,428	1,776,338
その他	1,026,307	1,016,712
貸倒引当金	124,300	114,167
投資その他の資産合計	3,514,004	3,458,969
固定資産合計	25,130,735	24,645,378
資産合計	66,557,009	65,818,422
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,553,915	12,775,219
短期借入金	10,371,116	10,244,353
リース債務	603,389	578,442
未払法人税等	1,879,284	681,302
賞与引当金	688,252	235,103
役員賞与引当金	65,000	16,250
未払費用	3,102,482	3,070,712
その他	2,105,468	2,882,778
流動負債合計	31,368,909	30,484,161



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>固定負債</b>		
長期借入金	3,985,600	3,760,700
リース債務	758,136	627,684
再評価に係る繰延税金負債	518,705	518,705
退職給付引当金	4,244,543	4,279,774
役員退職慰労引当金	488,100	350,222
資産除去債務	351,724	352,870
その他	2,570,244	2,629,350
<b>固定負債合計</b>	<b>12,917,054</b>	<b>12,519,307</b>
<b>負債合計</b>		
	44,285,963	43,003,468
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	2,434,300	2,434,300
資本剰余金	2,170,871	2,170,871
利益剰余金	17,161,595	17,685,626
自己株式	8,124	8,124
<b>株主資本合計</b>	<b>21,758,643</b>	<b>22,282,674</b>
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	56,504	44,753
繰延ヘッジ損益	2	3,978
土地再評価差額金	716,306	716,306
為替換算調整勘定	273,082	245,553
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>499,725</b>	<b>519,484</b>
少数株主持分	12,676	12,795
<b>純資産合計</b>	<b>22,271,045</b>	<b>22,814,954</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>66,557,009</b>	<b>65,818,422</b>

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	14,452,198	13,007,816
売上原価	10,563,939	9,063,184
売上総利益	3,888,258	3,944,631
販売費及び一般管理費		
販売費	1,842,131	1,852,648
一般管理費	784,334	667,130
販売費及び一般管理費合計	2,626,465	2,519,779
営業利益	1,261,792	1,424,851
営業外収益		
受取利息	2,618	3,040
受取配当金	7,763	7,161
業務受託料	14,851	17,814
負ののれん償却額	15,622	15,622
貸倒引当金戻入額	-	31,808
雑収入	14,785	75,609
営業外収益合計	55,640	151,056
営業外費用		
支払利息	72,337	58,261
為替差損	17,535	30,908
雑損失	15,758	6,558
営業外費用合計	105,631	95,729
経常利益	1,211,802	1,480,179
特別利益		
固定資産売却益	-	3,304
貸倒引当金戻入額	58,358	-
特別利益合計	58,358	3,304
特別損失		
固定資産売却損	773	-
固定資産廃棄損	4,672	3,015
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	289,388	-
その他	-	200
特別損失合計	294,834	3,215
税金等調整前四半期純利益	975,326	1,480,268
法人税、住民税及び事業税	688,764	646,849
法人税等調整額	246,509	54,570
法人税等合計	442,255	701,420
少数株主損益調整前四半期純利益	533,071	778,848
少数株主利益	403	119
四半期純利益	532,668	778,729

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	533,071	778,848
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	48,527	11,751
繰延ヘッジ損益	21,057	3,981
為替換算調整勘定	21,581	27,528
その他の包括利益合計	49,051	19,758
四半期包括利益	484,019	798,606
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	483,616	798,487
少数株主に係る四半期包括利益	403	119

【追加情報】

当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	
減価償却費	754,968千円	減価償却費	727,432千円
負ののれん償却額	15,622	負ののれん償却額	15,622

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月29日 定時株主総会	普通株式	254,703	8	平成22年3月31日	平成22年6月30日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	254,698	8	平成23年3月31日	平成23年6月30日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	船用機関 関連	陸用機関 関連	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	12,806,513	1,013,404	13,819,918	632,279	14,452,198	-	14,452,198
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	12,806,513	1,013,404	13,819,918	632,279	14,452,198	-	14,452,198
セグメント利益 又は損失( )	1,906,768	35,635	1,871,132	174,994	2,046,127	784,334	1,261,792

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業機器関連事業及び不動産賃貸関連事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	船用機関 関連	陸用機関 関連	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	11,392,074	1,202,723	12,594,798	413,018	13,007,816	-	13,007,816
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	11,392,074	1,202,723	12,594,798	413,018	13,007,816	-	13,007,816
セグメント利益	1,872,533	99,078	1,971,612	120,370	2,091,982	667,130	1,424,851

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業機器関連事業及び不動産賃貸関連事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、次のとおりであります。

前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額 16.73円	1株当たり四半期純利益金額 24.45円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
四半期連結損益計算書上の四半期純利益(千円)	532,668	778,729
普通株式に係る四半期純利益(千円)	532,668	778,729
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式の期中平均株式数(株)	31,837,678	31,837,310

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年 8月10日

ダイハツディーゼル株式会社

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 清水 万里夫 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 豊原 弘行 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているダイハツディーゼル株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成23年4月1日から平成23年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ダイハツディーゼル株式会社及び連結子会社の平成23年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以上

- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
- 2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。